

＜先週の説教から＞

『ヘブライ④－語っておられるのは誰か？』

武田真治牧師

ハガイ書 2：1～9 ヘブライ手紙 12：25～29

今日の箇所は「あなたがたは、語っている方を拒むことのないように気をつけなさい」と始まります。ここには前提となっている聖書の考え方があります。それは人間が成長して行く上で大事なことは“誰の声を聞いて生きるか”ということだと。小さい頃は親の言葉が絶対でした。次第に友達や先生や先輩の言葉に耳を傾けるようになります。そのような様々な人たちの声を聞いて行くことで、自分の考えや生き方が定まって来ると。それは、私たち神様に従って生きる者にとっては、何より聞くべき“声”は“神様の言葉”ではないでしょうか。ところが、その声を聞かなくなったのが旧約のイスラエルの人達だったと！それが「聞いた人々がこれ以上語ってもらいたくないと願った」「彼らは命令に耐えられなかったのです」と。そのような前例を踏まえて「(だからこそ)あなたがたは、語っている方を拒むことのないように気をつけなさい」と教えられているのです。

実はここで「気をつけなさい」と訳されている言葉は、ギリシア語の(ブレポー)で通常は「見る」と訳されている言葉です。ちゃんと見るということから「心を向ける」とも訳されるのです。おそらくここでの著者の思いは“(私たちに)語っている方”は何よりイエス様のことであり、私たちに見える形で表れてくださった方であるから、その方を「見続けて行く」ことが大事だということでしょう。それは12章1節以下の「すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競争を忍耐強く走り抜こうではありませんか、信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら」と同じです。今やイエス様は「天から御旨を告げられる」と。天から私たちに聖霊を通して、み言葉を語り掛け、導きを与えて下さっているのです。そして、いつかその天におられるイエス様の元へと迎え入れられるのですね！

故にこの後「このように、わたしたちは揺り動かされるこ

とのない御国(みくに)を受けているのですから、感謝しよう。感謝の念をもって、恐れ敬いながら、神に喜ばれるように仕えていこう。」と勧められていくのです。ここでの「仕える」ことは様々な意味が込められていると言いますが、それは何より“神様を礼拝する”ことではないでしょうか。なぜならば、神様のことを感謝を持って、心から讚美する、その声を合わせるこそ「神に喜ばれる」ご奉仕だと言い得るからです。この地上での礼拝は“天(＝御国)での礼拝”と繋がっています。私たちの人生は主を見上げながら“礼拝から礼拝へ”と歩み続けていくことです。その御声に聞き従いながら、天の礼拝に加えられるのです！

\*\*\*\*\*

【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 5月 3日(水) 20:00  
II. 5月 4日(木) 10:30

聖書：ハイデルベルク信仰問答  
祈祷主題：2023年度の教会の歩みを覚えて  
担当者：(水)真田 (木)細川  
祈りに覚える人：兼川さん 金刺さん

【教勢報告】

主日礼拝 男18 女56 計74  
祈祷会 I. 男5 女2 計7 II. 男1 女9 計10  
日曜学校 幼稚科5 小中科16 計21  
ひつじ雲の会(4月25日(火)) 男0 女4 計4

\*\*\*\*\*

【次週主日礼拝】 5月 7日(日)

聖書：イザヤ書 61：1～4  
マタイによる福音書 11：25～29  
説教：「年間聖句 ― 重荷を負う者はおいで！」  
武田 真治 牧師

讚美歌：17(1)、32、194、226(1と2)、  
479(1と2)、81(1と2)、88

【次週当番表】

司式：金刺長老 奏楽：須田 礼拝：保坂長老  
配餐：飯田 茨木 岩佐 相浦  
金刺 各長老  
献金：木川 喜嶋 受付：西尾 森本  
会堂準備：浅井 阿部 齋藤 山田  
看板：保坂 週報：岩佐 お花：森本

【次週集会予定】

礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会  
礼拝後：・5月誕生祝福 ・長老会 ・会堂管理委員会  
・お茶の会 ・牧師と語る会

# 週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

2023年 4月 30日

日本キリスト教団 上尾合同教会  
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33  
TEL&FAX 048-771-6549  
<http://www.ageo-church.org/>